

評価の観点と評価規準 4上

単元	小単元	観点別学習状況の評価規準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
わくわく算数学習	A	算数の学習の仕方を深く理解し、手際よく整理することができる。	図、式、ことばなどを関連づけて考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	算数の学習の仕方に关心をもち、進んで学習の仕方を学ぼうとしている。
		B	算数の学習の仕方を理解し、整理することができます。	算数の学習の仕方に关心をもち、学習の仕方を学ぼうとしている。
1 角とその大きさ	A	回転角の意味、角度の単位など角の大きさについて深く理解し、角の測定や作図、および角度のたし算・ひき算が手際よくできる。	分度器を使った角の測り方や作図の仕方を考え、その特徴に触れながら説明している。	角の大きさに关心をもち、進んで身のまわりの角の大きさを測ろうとしている。
		B	回転角の意味、角度の単位など角の大きさについて理解し、角の測定や作図、および角度のたし算・ひき算ができる。	分度器を使った角の測り方や作図の仕方を考えたり説明したりしている。
2 折れ線グラフ	①変わり方を表すグラフ	A	折れ線グラフは、変化の特徴を表していることを深く理解し、それを確実によむことができる。	線の傾きに着目して折れ線グラフを考察し、その特徴に触れながら説明している。
		B	折れ線グラフは、変化の特徴を表していることを理解し、よむことができる。	折れ線グラフに关心をもち、折れ線グラフから特徴をよみとろうとしている。
	②折れ線グラフのかき方	A	折れ線グラフの使い方や途中を省くときのかき方について深く理解し、手際よく折れ線グラフをかくことができる。	変化の様子がわかりやすいかどうかに着目して折れ線グラフのかき方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。
		B	折れ線グラフの使い方や途中を省くときのかき方を理解し、折れ線グラフをかくことができる。	変化の様子がわかりやすいかどうかに着目して折れ線グラフのかき方を考えたり説明したりしている。
	③2つのことがらを表すグラフ	A	2つのことがらが表されたグラフについて深く理解し、手際よくそれらの関係をよみとることができる。	2つのグラフを関連づけて、どんなことがわかるかを考え、その特徴に触れながら説明している。
		B	2つのことがらが表されたグラフについて理解し、それらの関係をよみとることができる。	グラフを見て気がついたことを話しあおうとしている。
3 1けたでわるわり算の筆算	①(2けた)÷(1けた)の筆算	A	(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方や答えの確かめ方を深く理解し、手際よく筆算で計算できる。	具体的な操作と結びつけながら筆算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。
		B	(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方や答えの確かめ方を理解し、筆算で計算できる。	わり算の筆算に关心をもち、(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方を進んで考えようとしている。
	②(3けた)÷(1けた)の筆算	A	(3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を深く理解し、手際よく筆算で計算できる。	具体的な操作と結びつけながら筆算の仕方を考えたり説明したりしている。
		B	(3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を理解し、筆算で計算できる。	わり算の筆算に关心をもち、(3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考えようとしている。
	③暗算	A	(2位数)÷(1位数)で商が2位数になる暗算の仕方を深く理解し、手際よく暗算で計算できる。	(3位数)÷(1位数)の筆算に关心をもち、筆算でしようとしている。
		B	(2位数)÷(1位数)で商が2位数になる暗算の仕方を理解し、暗算で計算できる。	簡単なわり算は、進んで暗算で計算しようとしている。

単元	小単元	観点別学習状況の評価規準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4 一億をこえる数	①億と兆	A 1億を超える大きな数のよみ方、表し方を深く理解し、1億を超える大きな数を手際よく、よんだり、かいたりすることができる。	十進位取り記数法に基づいて、1億を超える数の仕組みや表し方について考察し、そのよさや特徴に触れながら説明している。	1億を超える数に关心をもち、進んで数の仕組みや表し方について調べようとしている。
		B 1億を超える大きな数のよみ方、表し方を理解し、1億を超える大きな数をよんだり、かいたりすることができる。	十進位取り記数法に基づいて、1億を超える数の仕組みや表し方について考察したり説明したりしている。	1億を超える数に关心をもち、数の仕組みや表し方について調べようとしている。
	②大きな数の計算	A 大きな数の計算の仕方を深く理解し、手際よく大きな数の計算ができる。	既習の計算をもとに大きな数の計算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	大きな数の計算に关心をもち、進んで既習の計算を使って計算しようとしている。
		B 大きな数の計算の仕方を理解し、大きな数の計算ができる。	既習の計算をもとに大きな数の計算の仕方考えたり説明したりしている。	大きな数の計算に关心をもち、既習の計算を使って計算しようとしている。
5 垂直・平行と四角形	①垂直と平行	A 垂直や平行の意味を確実に理解し、垂直や平行な直線を手際よくみつけることができる。	直線の交わり方に着目して垂直や平行になっているかどうかを適切に判断し、その特徴に触れながら説明している。	直線の交わり方に关心をもち、進んで垂直や平行な直線について調べたり見つけようとしている。
		B 垂直や平行の意味を理解し、垂直や平行な直線をみつけることができる。	直線の交わり方に着目して垂直や平行になっているかどうかを判断したり説明したりしている。	直線の交わり方に关心をもち、垂直や平行な直線について調べたり見つけようとしている。
	②垂直や平行な直線のかき方	A 垂直や平行な直線のかき方を深く理解し、三角定規や方眼紙を使って手際よく垂直や平行な直線をかくことができる。	垂直や平行の意味をもとに垂直や平行な直線のかき方を考え、その特徴に触れながら説明している。	垂直や平行な直線に关心をもち、進んでかき方を考えようとしている。
		B 垂直や平行な直線のかき方を理解し、三角定規や方眼紙を使って垂直や平行な直線をかくことができる。	垂直や平行の意味をもとに垂直や平行な直線のかき方を考えたり説明したりしている。	垂直や平行な直線に关心をもち、かき方を考えようとしている。
	③四角形	A 台形、平行四辺形、ひし形の意味やそれらの性質を深く理解し、それらを手際よく弁別したり作図したりできる。	辺の平行に着目して台形、平行四辺形、ひし形などの四角形について考察し、その特徴に触れながら説明している。	台形、平行四辺形、ひし形などの四角形に关心をもち、進んで調べようとしている。
		B 台形、平行四辺形、ひし形の意味やそれらの性質を理解し、台形、平行四辺形、ひし形を弁別したり作図したりできる。	辺の平行に着目して台形、平行四辺形、ひし形などの四角形について考察したり説明したりしている。	台形、平行四辺形、ひし形などの四角形に关心をもち、調べようとしている。
6 小数	①小数の表し方	A 小数第3位までの小数の表し方を理解し、いろいろな数量を手際よく表すことができる。	0.1の10等を単位としてそのいくつ分かで表す表し方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	0.1Lで測ったときのあまりの表し方を進んで調べようとしている。
		B いろいろな数量を表すことができる。	0.1の10等分を単位としてそのいくつ分かで表す表し方を考えたり説明したりしている。	0.1Lで測ったときのあまりの表し方を調べようとしている。
	②小数のしきみ	A 小数の構成や仕組みを深く理解し、小数を10倍や100倍した数、10や100でわった数を手際よく求めることができる。	小数の構成や仕組みについて考察し、整数と同じように十進位取り記数法に従っていることに触れながら説明している。	小数の仕組みに关心をもち、整数の仕組みと関連づけて調べようとしている。
		B 小数の構成や仕組みを理解し、小数を10倍や100倍した数、10や100でわった数を求めることができる。	小数の構成や仕組みについて考察したり説明したりしている。	小数の仕組みに关心をもち、調べようとしている。
	③小数のたし算・ひき算	A 小数のたし算・ひき算の意味や計算の仕方を深く理解し、手際よく小数のたし算・ひき算ができる。	整数の場合をもとに小数のたし算・ひき算の仕方を考え、0.01のいくつ分や位ごとに分けて考えるよさや特徴に触れながら説明している。	小数のたし算・ひき算に关心をもち、進んで計算しようとしている。
		B 小数のたし算・ひき算の意味や計算の仕方を理解し、小数のたし算・ひき算ができる。	整数の場合をもとに小数のたし算・ひき算の仕方を考えたり説明したりしている。	小数のたし算・ひき算に关心をもち、計算しようとしている。

單元	小単元	観点別学習状況の評価規準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
学 わ く わ く 算 数 ひ ろ ば	●算数ラボ	A 観察してわかったことをもとに、ルーローの三角形を作る方法を深く理解し、手際よく作図できる。	ルーローの三角形がどこで測っても幅が等しくなる根拠を考え、その特徴に触れながら説明している。	图形の見方・考え方を働かせて、進んでどのような形かを觀察しようとしている。
		B 観察してわかったことをもとに、ルーローの三角形を作る方法を理解し、作図できる。	ルーローの三角形がどこで測っても幅が等しくなる根拠を考えたり説明したりしている。	图形の見方・考え方を働かせて、どのような形かを觀察しようとしている。
	●算数の自由研究	A 「ふしぎな輪」づくりを通して、算数の自由研究の仕方を深く理解し、いろいろな場合をつくって調べることができる。	輪の大きさやつなぎ方を変えるとどんな形ができるかを筋道立てて考え、その特徴に触れながら説明している。	「ふしぎな輪」づくりに意欲的に取り組み、算数の自由研究をしようとする。
		B 「ふしぎな輪」づくりを通して、算数の自由研究の仕方を理解し、教科書にある場合をつくって調べることができる。	輪の大きさやつなぎ方を変えるとどんな形ができるかを考えたり説明したりしている。	「ふしぎな輪」づくりに取り組み、算数の自由研究をしようとする。
7 2 け た で わ る わ り 算 の 筆 算	①何十でわるわり算	A 何十でわるわり算の意味や計算の仕方を深く理解し、手際よく計算できる。	10を単位にして既習の計算に帰着させて計算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	何十でわるわり算に関心をもち、進んで計算しようとしている。
		B 何十でわるわり算の意味や計算の仕方を理解し、計算ができる。	10を単位にして既習の計算に帰着させて、計算の仕方を考えたり説明したりしている。	何十でわるわり算に関心をもち、計算しようとしている。
	②商が1けたになる筆算	A 2位数でわるわり算で、商が1桁になる筆算の仕方を深く理解し、手際よく筆算ができる。	既習の1桁でわる筆算と同じように筆算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	進んで、2桁でわる筆算の仕方を考えようとしている。
		B 2位数でわるわり算で、商が1桁になる筆算の仕方を理解し、筆算ができる。	既習の1桁でわる筆算と同じように筆算の仕方を考えたり説明したりしている。	2桁でわる筆算の仕方を考えようとしている。
	③商が2けた、3けたになる筆算	A 2位数や3位数でわるわり算で、商が2桁や3桁になる筆算の仕方を深く理解し、手際よく筆算ができる。	商が1桁になるわり算に基づいて筆算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	商がどの位から立つかを見当づけ、進んで筆算をしようとしている。
		B 2位数や3位数でわるわり算で、商が2桁や3桁になる筆算の仕方を理解し、筆算ができる。	商が1桁になるわり算に基づいて筆算の仕方を考えたり説明したりしている。	商がどの位から立つかを見当づけ、筆算をしようとしている。
	④わり算のせいしつ	A 除数と被除数に同じ数をかけてもわっても商は変わらないというわり算の性質を深く理解し、それを使って大きな数のわり算の答えを手際よく求めることができる。	わり算の性質を使って、大きな数のわり算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	わり算の性質に関心をもち、進んで計算に活用しようとしている。
		B 除数と被除数に同じ数をかけてもわっても商は変わらないというわり算の性質を理解し、それを使って大きな数のわり算の答えを求めることができる。	わり算の性質を使って、大きな数のわり算を考えたり説明したりしている。	わり算の性質に関心をもち、活用しようとしている。
8 割 合	①割合	A 割合の意味を理解し、割合を使って数量の関係を手際よく比較することができる。	数量の関係の比べ方にについて考察し、割合の特徴に触れながら説明している。	数量の関係を比べるときに、進んで割合を調べて比較しようとしている。
		B 割合の意味を理解し、割合を使って数量の関係を比較することができる。	数量の関係の比べ方にについて考察したり説明したりしている。	数量の関係を比べるときに、割合を調べようとしている。
	②何倍になるかを考えて	A 何倍になるかをまとめて考える考え方を深く理解し、手際よく数量を求めることができる。	「□のa倍のb倍がc」という数量の関係が「□の(a×b)倍が c」という関係になることに気づき、その特徴に触れながら説明している。	2通りの方法を比べ、進んでそれぞれの違いやよさを考えようとしている。
		B 何倍になるかをまとめて考える考え方を理解し、数量を求めることができる。	「□のa倍のb倍がc」という数量の関係が「□の(a×b)倍が c」という関係になることを考えたり説明したりしている。	2通りの方法があることを知り、それぞれの方法で数量を求めようとしている。

単元	小単元	観点別学習状況の評価規準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
式と計算の順じよ	①式とその計算の順じよ	A ( )の意味や四則の混じった計算の順序について深く理解し、計算の順序を考えて手際よく計算することができる。	( )を使って1つの式に表すことや四則混合の計算の順序について考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	式のきまりや計算の順序について進んで調べようとしている。
		B ( )の意味や四則の混じった計算の順序について理解し、計算の順序を考えて計算することができる。	( )を使って1つの式に表すことや四則混合の計算の順序について考えたり説明したりしている。	式のきまりや計算の順序について調べようとしている。
	②計算のきまり	A 交換法則、結合法則、分配法則等の計算のきまりを深く理解し、それらを用いて手際よく計算をすることができる。	計算のきまりを使って、計算の仕方を工夫して考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	計算のきまりに关心をもち、進んでいろいろな計算しようとしている。
		B 交換法則、結合法則、分配法則等の計算のきまりを理解し、それらを用いて計算をすることができる。	計算のきまりを使って、計算の仕方を工夫して考えたり説明したりしている。	計算のきまりに关心をもち、いろいろな計算をしようとしている。
	③式のよみ方	A 式のよみ方を深く理解し、式の表す意味を簡潔に図で表すことができる。	式の表す意味を図と結びつけて考え、その特徴に触れながら説明している。	式の表す意味に关心をもち、進んで図と結びつけて説明しようとしている。
		B 式のよみ方を理解し、式の表す意味を図で表すことができる。	式の表す意味を、図と結びつけて考えたり説明したりしている。	式の表す意味に关心をもち、図と結びつけて考えようとしている。
	④計算の間の関係	A 加法と減法および乗法と除法が逆演算関係にあることを深く理解し、□にあてはまる数を、手際よくみつけることができる。	加法と減法および乗法と除法が逆演算関係にあることに気づき、□にあてはまる数がどんな計算で求められるかを考え、その特徴に触れながら説明している。	計算の間の関係に关心をもち、進んでそれらの相互の関係を調べようとしている。
		B 加法と減法および乗法と除法が逆演算関係にあることを理解し、□にあてはまる数をみつけることができる。	加法と減法および乗法と除法が逆演算関係にあることに気づき、□にあてはまる数がどんな計算で求められるかを考えたり説明したりしている。	計算の間の関係に关心をもち、それらの相互の関係を調べようとしている。
○そろばん		A そろばんを使った小数のたし算やひき算の仕方を深く理解し、そろばんを用いて小数のたし算やひき算が手際よくできる。	そろばんでの小数の表し方をもとに、整数と同じように計算の仕方を考え、その特徴に触れながら説明している。	進んでそろばんを使って小数を表したり、小数のたし算やひき算をしたりしようとしている。
		B そろばんを使った小数のたし算やひき算の仕方を理解し、そろばんを用いて小数のたし算やひき算ができる。	そろばんでの小数の表し方をもとに、整数と同じように計算の仕方を考えたり説明したりしている。	そろばんを使って小数を表したり、小数のたし算やひき算をしたりしようとしている。